




基礎の立ち上がり高さの設定

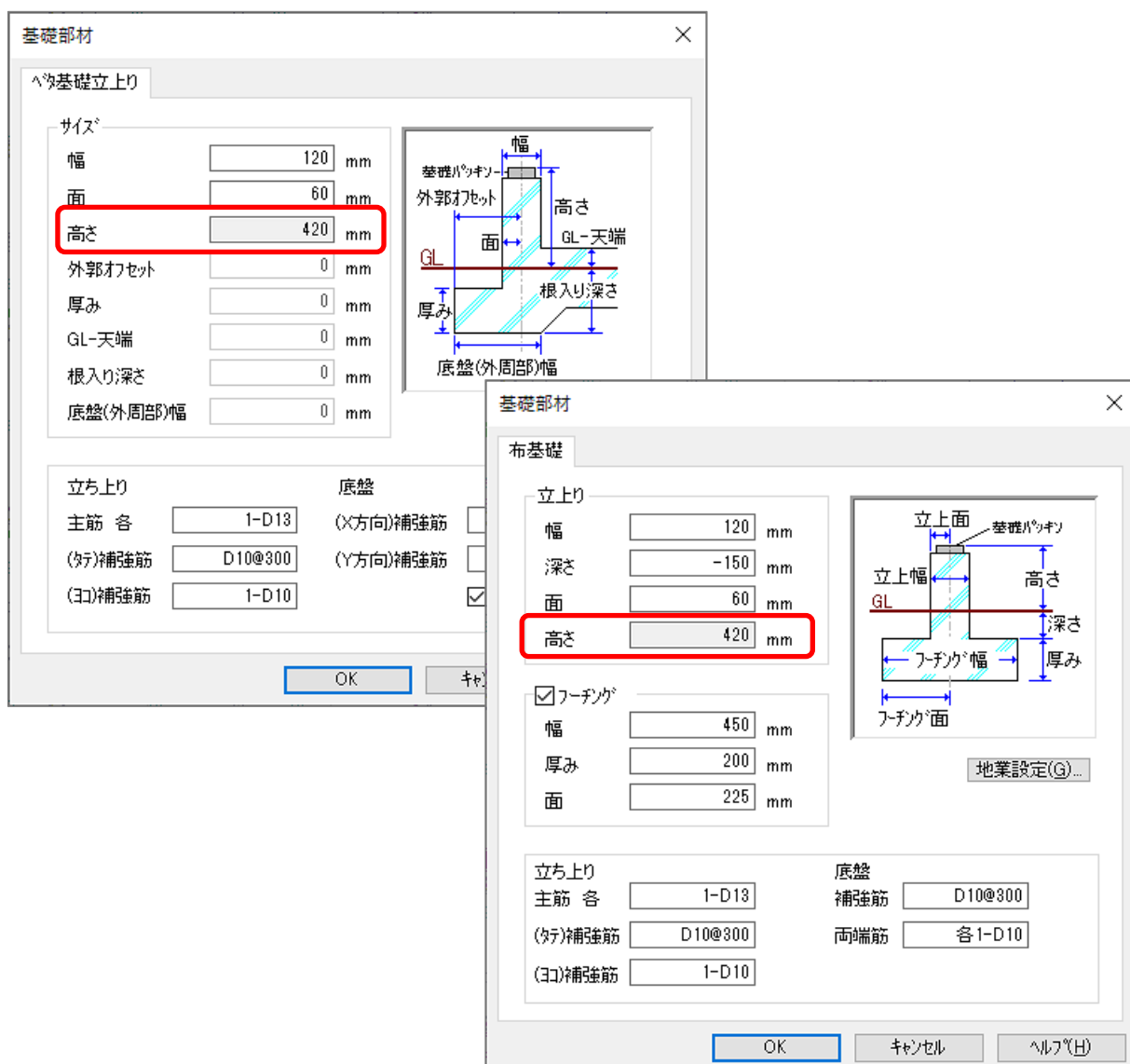
文書管理番号：1191-01

Q. 質問

基礎伏図で基礎を配置する時に、基礎の立ち上がり高さを変更できない。
 矩計図を伏図連動で作成する時の基礎の立ち上がり高さを変更したい。

A. 回答

 (基礎伏図)で基礎 ( (ベタ基礎立上り)、 (布基礎)) を配置する際に、基礎パッキンを含めた基礎の立ち上がり高さは、他のアプリケーションで設定している数値から自動で算出されます。



基礎部材 (ベタ基礎立上り)

| | |
|-----------|---------------|
| 幅 | 120 mm |
| 面 | 60 mm |
| 高さ | 420 mm |
| 外部オフセット | 0 mm |
| 厚み | 0 mm |
| GL-天端 | 0 mm |
| 根入り深さ | 0 mm |
| 底盤(外周部)幅 | 0 mm |

布基礎

| | |
|-----------|---------------|
| 幅 | 120 mm |
| 深さ | -150 mm |
| 面 | 60 mm |
| 高さ | 420 mm |

その他の設定 (布基礎):

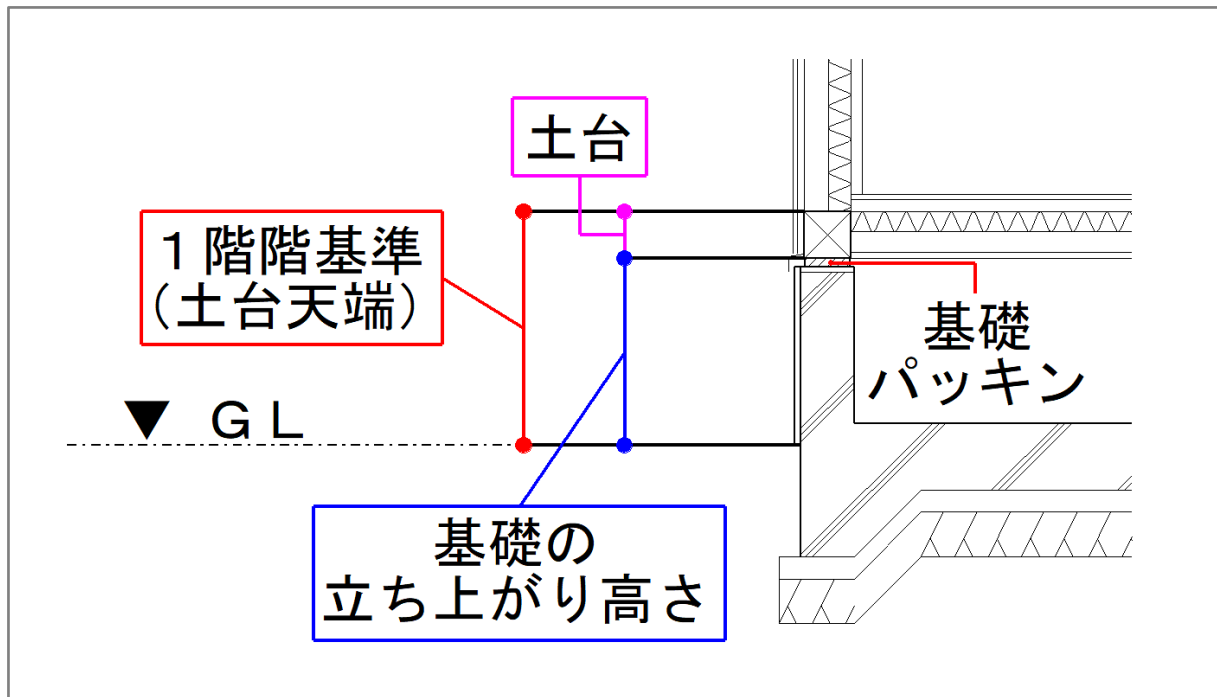
| | |
|----|--------|
| 幅 | 450 mm |
| 厚み | 200 mm |
| 面 | 225 mm |

立上り: 主筋 各 1-D13, (タテ)補強筋 D10@300, (ヨコ)補強筋 1-D10

底盤: 補強筋 D10@300, 両端筋 各1-D10




A's (エース) では、基礎の立ち上がり高さ（基礎パッキンを含む）は、次の基準によって決まります。



$$\text{基礎の立ち上がり高さ（基礎パッキンを含む）} = \text{1階階基準（土台天端）} - \text{土台の寸法（高さ）}$$



【例】

1階階基準（土台天端）が「525」、土台の寸法（高さ）が「105」の場合、基礎パッキンを含む基礎の立ち上がり高さは「420」（525－105）となります。

1階階基準（土台天端）の数值は、 (物件概要)の「建物高さ」、または  (高さ設定)の  (階基準高さ)で指定できます。

基礎の立ち上がり高さの基準となる土台の寸法（高さ）は、 (床伏図)で設定している  (土台)の寸法が反映されます。

操作手順

● 高さ設定で 1 階階基準（土台天端）を設定

① (クイックメニュー)またはメインメニューから (高さ設定)をクリック

* 高さ設定の画面が表示されます。

② (階基準高さ)をクリック

* 高さ設定に表示されている簡易立面のいずれかの外壁をクリック、または「設定」⇒「階基準高さ」をクリックしてもかまいません。

* 階基準高さの画面が表示されます。

③ 建物高さ設定の「土台天端」または、軒高の 1 階「階基準」の欄をクリックし、数値を変更

階基準高さ

建物高さ設定 単位：mm

床高・天井高

木造根太レス仕様 マスター登録(Y)...

| 階数名称 | 基準床高 (※-1床高さ) | 基準天井高 (※-1天井高さ) | FL (床仕上天端) |
|------|---------------|-----------------|------------|
| 2階 | 40 | 2400 | 3595 |
| 1階 | 40 | 2400 | 585 |

軒高

木造一般仕様 マスター登録(N)...

| 階数名称 | 階基準高さ (横架材天端距離) | 階基準 (横架材天端) | 軒高さ | 基礎高さ | 最高高さ |
|------|-----------------|-------------|------|------|--------|
| 2階 | 2925 | 3555 | 6480 | - | 7704.9 |
| 1階 | 3010 | 545 | 3555 | 420 | - |

※基礎パッキンの高さは階基準に含めてください。


OK キャンセル ヘルプ(H)



* GLから1階階基準（土台天端）までの高さ（基礎の立ち上がり高さ+基礎パッキン+土台の高さ）を入力してください。



④ 「OK」をクリック





* 建物の高さが、設定した高さに変更されます。

【参考】



階基準高さ（建物高さ設定）は、 (物件概要)でも設定できます。



 (クイックメニュー)またはメインメニューから (物件概要)を開き、左下の「< 建物高さ」をクリックすると、建物高さの設定画面が表示されます。

 (高さ設定)の (階基準高さ)と連動していますので、同様に設定できます。

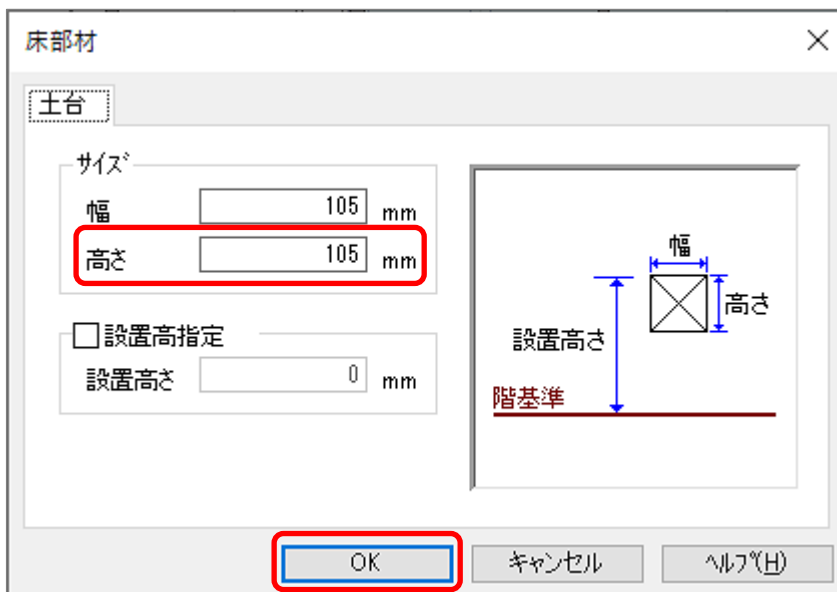
また、階基準高さの「基礎高さ」は、 (3D パース)や (立面図)などの3次元表現に反映され、 (基礎伏図)や (矩計図)などの図面には反映しません。

● 床伏図で土台の寸法（高さ）を設定

- ①  (クイックメニュー)またはメインメニューの (床伏図)をクリック
* 床伏図の画面が表示されます。

- ②  (床材)の (土台)をクリック
* 床部材の土台の設定画面が表示されます。

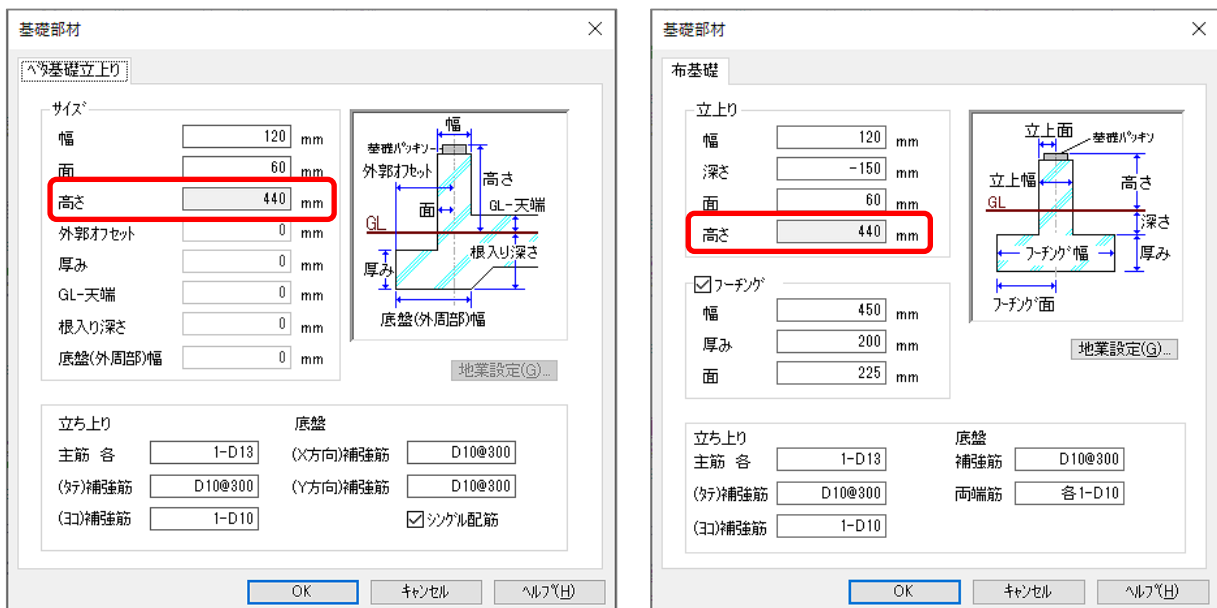
- ③ 土台サイズの高さを変更し、「OK」をクリック



- * 土台の高さが、変更した数値で設定されます。

● 基礎伏図で基礎の立ち上がり高さを確認

- ① (クイックメニュー)またはメインメニューの (基礎伏図)をクリック
 - * 基礎伏図の画面が表示されます。
- ② (基礎材)の (ベタ基礎立上り)または (布基礎)をクリック
 - * 基礎部材のベタ基礎立上りまたは布基礎の設定画面が表示されます。
- ③ 基礎の立ち上がり高さを確認



- * 基礎の立ち上がり高さが、変更されていることを確認します。
- * 基礎パッキンの厚みは、 (基礎パッキン)で設定してください。

【注意】

変更後に配置した基礎材に、高さの設定が反映されます。基礎伏図で入力済みの基礎には反映されません。

基礎伏図で基礎を入力済みの場合は、高さの設定を変更後に、基礎材を再度入力してください。

【参考】

基礎の立ち上がり高さは、基礎の断面図にも反映されます。基礎の断面図の作成方法については、こちらをご覧ください。

[\[1147\] 基礎の断面図を作成する方法](#)